

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		百貨店（売場主任） スーパー（店長） 家電量販店（営業担当）	・大手百貨店の閉店により来客数が増加している。 ・近隣の自社の他店舗が業態変更をしたため、来客数、単価ともに増加している。 ・セールスに耳を傾けていただける客が多くなり、購入意欲が強まる兆しが見られる。
	変わらない	一般小売店〔乾物〕（店員）	・イラク情勢が早期終結すれば、株価値上がり、円安の方向に進み、また日銀新総裁の政策の効果が出れば、少しは景気は良くなると思う。しかし、情勢が長期化すれば全く逆の状態になり、現状での判断は難しい。
		百貨店（営業担当）	・来客数は1月に、売上は当月に前年を回復した。しかし、単価の減少傾向は変わっていない。客の購入動向も数か月間同じ傾向で、ブランドにより好不調がはっきり出しており、客の選別指向がさらに強まっている。
		コンビニ（店長）	・卒業、転勤などの客の入れ替えで多少期待しているが、売上は、この一年間前年並みで推移している。
		衣料品専門店（経営者）	・イラク情勢、県知事選の結果次第で景気は変わってくると思う。
		乗用車販売店（従業員）	・イラク情勢が長期化すると、経済的に支障が出てくる。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・発泡酒の増税で、3月は駆け込み需要があったが、前倒しの購入にすぎず、先行きは横ばいである。
		一般レストラン（経営者）	・単価、来客数の減少が、固定化、日常化しており、急速な変化はない。
		観光型旅館（経営者）	・イラク情勢が長期化すれば、景気はしばらく良くなり、悪くなると思う。
		ゴルフ場（従業員）	・3か月後の予約状況を過去のデータと比べると変化がない。
		設計事務所（所長）	・イラク情勢の影響により先行き不透明である。
	やや悪くなる	一般小売店〔生花〕（経営者）	・3月末は送別会用に花束がたくさん出たことから、退職者、離職者の数が過去に例がないほど多いと感じた。このことから、消費はさらに冷え込むのではないかと考える。
		一般小売店〔菓子〕（販売担当）	・来客数は、前年を大きく割り込んでおり、回復の兆しが一方向に見えない。
		百貨店（総務担当）	・イラク情勢の長期化への懸念や社会保険料の値上げ、たばこ、発泡酒の増税などにより、心理的に客の消費意欲がますます冷え込んでいる。
		スーパー（財務担当）	・イラク情勢の影響は今のところ見られないが、今後、どんな影響が出てくるか心配である。
		スーパー（店長）	・競合店の改装オープンセールで客がそちらに流れていることと、安い物を買って回る客の消費動向から価格競争が強まっている。
		衣料品専門店（経営者）	・一年で一番売れる時期である3月の売上が、対前年比で3割から4割減少していることから判断すると、今後も期待はできない。
		家電量販店（店長）	・新商品の売上は良いが、既存商品の単価は下落しており、販売量が増加する要素がない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車やモデルチェンジ車の効果も次第と薄れ、今後は厳しくなると感じている。
		都市型ホテル（経営者）	・予約状況を昨年と比べると極端に悪化している。単価も低下している。
		旅行代理店（従業員）	・イラク情勢による国際テロなどの不安があり、海外旅行の予約は低調、国内旅行も不景気感が強く、あまり期待できない。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン減税を見込んだ客への販売が一段落した。
		その他住宅〔不動産〕（経営者）	・1月以降低調に推移し、今後もしばらく、買い需要が増加するとは思えない。
	悪くなる	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・新製品、プライベートブランド商品は、比較的よく売れているが、料理店、スナックなど業務向けが非常に深刻な状況である。
		スーパー（店長）	・医療費値上げ、イラク情勢など悪い条件があり、買い控えなどで景気は悪くなると思う。

		衣料品専門店 [ 婦人服 ] ( 経営者 )	・ 来客数が減少している。
		通信会社 ( 企画担当 )	・ 株価の低迷に加え、イラク情勢で今後の見通しは非常に悪い。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	食料品製造業 ( 従業員 )	・ 変わらないというよりも分からないというのが現実である。新商品を出しても2か月後、3か月後の商品の動きが見えない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業 ( 経営者 )	・ 新商品で売上が増加しても、既存商品が減少する状況が繰り返されており、全体としては、なかなか上向きにならない。
		化学工業 ( 営業担当 )	・ イラク情勢が長期化すれば、原油価格の高騰により経済成長はマイナスになると予測する。
		一般機械器具製造業 ( 経理担当 )	・ 東京都の排ガス規制によるトラック需要が活発なことから、小型クレーンの出荷台数は増加している。しかし、これは一時的な要因で、民間設備投資を軸とした本格的な回復に結びつくものではない。
		建設業 ( 経営者 )	・ 3か月先の受注見通しが立たない。
		通信業 ( 支店長 )	・ 個人客の購買意欲は低いままであり、企業も経費を切りつめる会社が多く、今後も変化がないと感じる。
		金融業 ( 融資担当 )	・ 建設業を中心に受注量、受注単価とも回復の兆しがない。また、売掛先の倒産により、資産の不良化も懸念される。
		不動産業 ( 経営者 )	・ 協力業者の業績が、良いところと悪いところに二極化している。
広告代理店 ( 経営者 )	・ 大口得意先である携帯電話会社が、合理化により4月から広告出稿窓口を県外に集約する。したがって、広告予算が削減される見込みであり、依然として厳しい状況が続く。		
	公認会計士	・ 集金状況が非常に悪くなっており、各取引先の資金繰りが悪化していることがうかがえる。この状況が急速に良くなるとは考えにくい。	
やや悪くなる	電気機械器具製造業 ( 経営者 )	・ イラク情勢の長期化で円高が懸念され、当社のようにアメリカへの輸出が多い企業は、非常に厳しい状況になる。	
	輸送業 ( 支店長 )	・ イラク情勢の長期化が予想され、原油価格の高騰や軽油の値上げを価格に容易に転嫁できない。	
	輸送業 ( 配車担当 )	・ イラク情勢の長期化、輸出の低迷などが解決しない限り、景気は上向かないと思う。	
悪くなる	家具製造業 ( 経営者 )	・ 全体的にパイが小さくなっているのに加え、戸建住宅の建築が極端に落ち込んでいる。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社 ( 編集者 )	・ 即戦力の中途採用プランを投入するため、求人掲載数が増える。
	変わらない	職業安定所 ( 職員 )	・ 新規求職者数に減少傾向がみられる。また、管内の地元優良企業において、雇用調整計画をしている事業所が出てきている。
		学校 [ 大学 ] ( 就職担当 )	・ 雇用条件の悪化が伝えられる中、新規求職は非常に慎重になり、それが採用者数の減少につながっている。求人数が伸びない中、求職者数は横ばいであり、今後もこの傾向は変わらない。
	やや悪くなる	人材派遣会社 ( 支店長 )	・ 今まで派遣社員を利用してきた企業もパートや契約社員に切り替えるところが増えてきた。
職業安定所 ( 職員 )		・ パートを含む有効求人倍率は0.56倍と、2か月連続で対前月比0.01ポイントのマイナスとなった。また、有効求職者は5か月連続で対前年同月比マイナスとなっているが、これは雇用保険受給者の減少が要因である。一方、一般求職者数の増加と求人数の減少に歯止めがかからないことから、雇用環境はなお悪化する。	
悪くなる	-	-	